

高校生総合補償制度 - 傷害総合保険のご案内 -

大切なお子さまを学校が休みの日でも24時間365日補償します！

【お子さまのケガ、個人賠償責任、育英・学資・進学費用】

※自転車事故限定プランは補償内容が異なります。

オプション 弁護のちから

学校でのいじめやSNSでの誹謗中傷などのトラブルに巻き込まれた場合、そのトラブルを解決するための弁護士費用をサポートします。また、弁護士相談サービスや、無料の「被害事故・嫌がらせ相談窓口」も利用可能です。

「弁護のちから」の3つの特徴

<弁護士紹介サービス>

無料

日本弁護士連合会を通じて各地の弁護士よりご紹介

法的トラブルの解決に要する弁護士費用をサポート

- ①法律相談費用保険金
- ②弁護士委任費用保険金

<被害事故・嫌がらせ相談窓口>
警察OB等によるアドバイスが

何度でも無料

手続きはWEBで簡単申込み！
24時間いつでもスマートフォンやタブレットからアクセス！！

専用のWEBサイトで必要事項を入力し、後日お送りする払込票で保険料をコンビニ等でお支払いいただけます。

※新入学年次の11月以降は払込票でのお手続きとなりますので、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

上記は概要を説明したものです。詳しい内容については、事務幹事代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

事務局	秋田県高等学校PTA連合会	TEL 018-863-6681
引受保険会社	損害保険ジャパン株式会社秋田支店秋田支社	TEL 018-862-8425
事務幹事代理店	秋田県保険代理業協同組合 株式会社アキタ保険	TEL 018-864-6921

〒010-0951 秋田市山王6-5-9

補償内容の詳細は、下記の2次元コードからご確認ください。



(S123-12679 2024.1.9)

編集後記

「高P連会報133号」をお読みいただきありがとうございます。一人でも多くの方々に読んでいただけるよう「見やすい広報紙」づくりに励んでまいりましたが、いかがでしたでしょうか。また、私自身2年目の調査広報委員会でしたが、編集作業など大変勉強になる2年間でもありました。そして、今号の作成にあたりお忙しい中原稿をお寄せくださった皆様、事務局の皆様、そして照井委員長をはじめとする広報委員の皆様には大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

調査広報委員会副委員長 細矢 朋明 (ゆり支援学校PTA会長)



秋田県 高P連 会報 No.133

発行/秋田県高等学校PTA連合会 事務局/秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F TEL018(863)6681 印刷/秋田中央印刷株式会社

今よりも一歩先へ より良い学校生活を目指して



変わるもの変わらないもの ～繋がり大切にしたい～

秋田県高等学校PTA連合会
会長 竹嶋 美佳沙

令和5年度も残りわずかとなりました。これまで会員の皆様には多くのご協力を頂き大変感謝しております。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行したことで子ども達を取り巻く環境は「日常」を取り戻すべく一気に動き出しました。もちろん、保護者の皆様の生活も同じように動き出し、忙しい日々を過ごしてこられたことと思います。

本連合会活動におきましても年間行事予定に沿い、これまで全ての行事を予定通り、そして対面に開催でき大変嬉しく思います。

8月に宮城県で開催された全国大会には秋田県からも多くの方に参加頂きました。大会に合わせ、全国表彰を受けた県内の皆様を祝賀会を開催することもできました。また、9月の県南地区交流大会を皮切りに行われた各地区交流大会では3地区すべてにおいて情報交換会を開催することができ、会員同士の交流を深める大変貴

重な機会になりました。コロナ禍では、対面での行事や会員同士の交流の機会を設けることができない等、もどかしい場面が多ありましたが、今年度は各種行事を通して、対面での交流の大切さや楽しさを実感しております。再び復活しました対面という形を来年度以降も継続できますことを願っています。

しかしながら、会わなくても成立していたことに改めて時間を割くことに後ろ向きな意見があることも事実ではあります。実際、学校へ足を運んでくれる保護者の数が減ってしまったという意見もあります。大切な子ども達が、1日の多くの時間を過ごす学校です。その学校に対して、関心がないという保護者の方はいないはず。子ども達の教育環境の維持・向上のために引き続き皆様のご理解・ご協力を頂き、本連合会・学校・保護者が繋がりを大切にしながら今後も活動してまいりたいと思いますので引き続き宜しくお願い致します。

第72回全国高P連大会 2023宮城大会 開催



全体会



本県から代表受賞:金沢 直樹氏



記念講演会:須江 航氏



分科会講演会



受賞祝賀会での記念撮影

第72回全国高P連大会2023宮城大会が、「豊かな社につむく虹の光 ～しなやかな強さで生き抜く力～」をテーマに8月24日(木)・25日(金)に宮城県仙台市に於いて開催されました。宮城大会は、昨年の石川大会に続いて現地参加とWeb参加を併用したICTを駆使した新しいスタイルの大会運営を継承し、直接参加が6千人、Web参加が246校と、全国各地からたくさんのPTAの皆さまがこの大会に参加しました。秋田県からは、直接参加が24校52名、そしてWeb参加が3校参加しました。

大会は、希望者による3つのコース(名取市震災遺構見学、松島震災復興語り部クルーズ、東北大学キャンパスツアー)に分かれての教育視察が企画され、506名が参加しました。そして6つの分科会と記念講演会が行われました。表彰式は、秋田県からは2団体6名が表彰され、横手清陵学院高校前会長の金沢直樹氏が登壇して代表受賞されました(下記記載)。記念講演会は、今

年の夏の甲子園大会で準優勝した仙台育英高等学校硬式野球部監督の須江航氏が「伝わる言葉～失敗から学ぶ～」を演題に、監督と選手達とのコミュニケーションの大切さについてご自分の体験を含めて講演していただきました。甲子園大会準優勝後すぐに会場に駆けつけてご講演いただいたこともあり、参加者からは満場の喝采を浴び、立ち見の参加者が多く出るほどの大盛況となりました。宮城県実行委員会の皆様の創意工夫とおもてなしの心に対して、感謝と敬意を表します。

祝 全国表彰おめでとうございます

<団体表彰>

花輪高等学校PTA
大館桂桜高等学校PTA

<個人表彰>

(文部科学省令和5年度PTA活動振興功労者表彰)
石嶋勝比古氏(秋田県高P連 顧問 元会長)
湊屋 啓二氏(秋田県高P連 顧問 元会長)

(全国高P連表彰)

梶尾 香香氏(秋田県高P連 前会長)
根田 達也氏(秋田県高P連 前副会長)
金沢 直樹氏(秋田県高P連 前副会長)
淡路ひろ子氏(秋田県高P連 前事務局員)



全国表彰受賞校から

全国高P連優良 団体表彰を受賞して

花輪高等学校PTA会長 青山 真

花輪高校PTAが令和5年度全国表彰を受賞し、日頃から子どもたちの活動を支え、促し、見守ってくださっている、校長先生を始め先生方、地域の皆様、保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。

花輪高校は、1926年(大正15年)に当時の花輪町に創立された花輪実科高等女学校が1948年(昭和23年)に男女共学の県立花輪高等学校となり、令和5年度で創立98周年を迎えます。98年の間に、多くの卒業生を輩出し、卒業生が花高生の保護者に、花高の先生になるなど、多くの方が花輪高校と長く関り、地域に愛される高校となりました。強歩大会では、多くの保護者の協力を受けて、今年は全長約23kmのコースで実施しました。文化祭である花高祭では、地元商店街関係者の支援のもと、商店街を会場に仮装カーニバルを開催してきました。年によって形は変わってきましたが、このように全校の花高生が地域で行う学校行事が伝統として続いてきたことは、多くのPTA関係者、PTAのOB、



全国大会の表彰式(筆者左)

OG、保護者、先生方の学校活動にかける強く温かい気持ち、支えがあったからこそだと思います。

この花輪高校は令和5年度で閉校し、十和田高校、小坂高校と統合し、令和6年度から鹿角高校としてスタートを切ることとなりました。閉校の年に花輪高校PTAがこのような名譽ある賞を受賞することができ、大変うれしく思います。長きにわたり学校の活動を支えてくださった、たくさんの皆様に感謝いたします。

告知

来年度の全国高P連大会は、 茨城県水戸市で開催されます

来年度の全国大会は令和6年8月22日(木)・23日(金)に茨城県水戸市で開催されます。会場は「アダストリアみとアリーナ」をメイン会場にして6つの会場で、全体会と6つの分科会が行われます。

参加方法は、石川大会・宮城大会に続き、直接参加とWeb参加を併用した参加となります。実行委員会の皆さまからは、茨城県の認知度をあげるためにも是非茨城の地にいらしてほしいと熱望しております。この大会を機に茨城県の魅力を体験してみたいいかがでしょうか?詳しくは下記のQRコードからご覧ください。

大会概要はこちらのQRコードから



アダストリアみとアリーナ



全国大会(宮城)で来年度の大会をPR

第2回理事会・第2回合同委員会開催



理事会

第2回理事会が10月27日(金)に秋田県生涯学習センターで開催されました。理事会では、今年度の事業の前期の報告と後期の予定について報告を受け、また、来年度の高校生総合補償制度について引受保険会社の損保ジャパンから提案があり、理事の皆さんと十分に協議し、内容について決議されました。また、今年度に入って高P連の行事への参加者が減少している状況を受け、今後の対策について話し合われました。

午後からは、全県の加盟校のPTA会長が一堂に会し、第2回合同委員会が開催されました。講演会では、健康管理士一般指導員で秋田ヤクルト販売(株)広報企画課長の竹村太郎氏(本連合会理事)を講師にお招きし、「おなかから考える健康づくり」の演題でおなかと免疫の関係や大腸を元気にする方法と乳酸菌の効果、そして、免疫を上げるための生活習慣(バランスのとれた食事、睡眠、運動、笑うこと)などについて専門の立場からわかりやすく理論的に講演をいただきました。参加者からは多くの相談や質問が出され、健康の大切さについて改めて振り返ることのできる有意義な講演会となりました。その後、各委員会に分かれて前期の活動の中間報告と後期の活動、そして教育懇談会に取り上げる懇談事項について話し合われました。

果、そして、免疫を上げるための生活習慣(バランスのとれた食事、睡眠、運動、笑うこと)などについて専門の立場からわかりやすく理論的に講演をいただきました。参加者からは多くの相談や質問が出され、健康の大切さについて改めて振り返ることのできる有意義な講演会となりました。その後、各委員会に分かれて前期の活動の中間報告と後期の活動、そして教育懇談会に取り上げる懇談事項について話し合われました。



竹村氏の講演



分科会(総務)

地区交流会 報告

県北地区

「アフターコロナを生きる子どもたちのためにPTAができること」

能代高等学校PTA会長 吉方清彦

この度の県北地区交流会に70名を超える参加をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

単年度で完結するというPTAの性質に加え、コロナ禍という特異な状況が数年続くという背景の下、紙資料を中心に企画を進めてまいりました。準備のための情報が少なかったということとは企画自体が単なる焼き直しに終わるのではなく、むしろ不具合がありながらも独自性を出せたという点では良かったのかもしれませんが、『アフターコロナを生きる子どもたちのためにPTAができること』を今回のテーマとしました。大きな災厄の

あとは世の中の価値観が大きく変わっていきます。同時に現在は個々人の多様性を強く尊重する社会に変わってきました。他者の多様性を認めるためにはまず自らの様々な可能性を見つけること、既成の価値観に捕らわれないことが必要であると思います。

激動の世界の中で新たな可能性を見つけ努力する大切さを子供たちに伝えられればと思います。

来年度の担当校は、大館鳳鳴高校です。



旧料亭 金勇を見学



対談



講師による演奏

地区交流会 報告

中央地区

「子供たちと秋田の未来を考える～県内高校生への進路実現に向けての支援について～」

新屋高等学校PTA会長 南波大

令和5年度の中央地区PTA交流大会は、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、また、たくさんの会員の皆様方にご参加をいただきました。

秋田県あきた未来創造部移住・定住促進課の講師の方々からは、会のテーマに沿って非常に参考になる現状分析や貴重な情報を含んだご講演をいただきました。この講演を受けてのグループ協議(意見交換会)では各グループにおいて活発な議論がおこなわれ、その後の協議内容の報告では各グループから子供たちと秋田の未来に向けた取り組みに関する様々な提言がされました。

全体会に続き、中央地区としては4年振りとなる情報交換会を行いました。情報交換会は歌や踊りが披露されるなど大いに盛り上がり、会員同士の交流を更に深めて大会を締め括ることができました。

今大会にご協力をいただきました関係各位の皆様、ご参加いただきました会員の皆様にあらためて感謝を申し上げます。

来年度の担当校は、男鹿海洋高校です。



全体風景



講演



グループ協議

地区交流会 報告

県南地区

「これからのPTAはどうあるべきか」

羽後高等学校PTA会長 阿部康弘

令和5年度秋田県高等学校PTA連合会県南地区PTA交流大会が湯沢・雄勝地区で4年ぶりに多くの会員の皆様方にご参加頂き活気のある大会が開催できたことに改めて感謝申し上げます。

秋田県立図書館館長 菅原敏紀氏による「これからのPTA～家庭・地域・学校の連携による子どもの夢の実現に向けて～」では3者連携の必要性について貴重なご講演を頂きました。

生徒を取り巻く環境が著しく変化し、家庭や地域社会のつながりの希薄化がいわれている中で、全国的に

「PTAなど必要ない」という声も挙がっています。PTAの理念は「学校と家庭」や「家庭と家庭」の間に橋を渡し、地域に協働の輪をつくっていく役割を担うことではないでしょうか。

コロナ禍の3年間を経て、学校現場や各家庭で抱える問題について、子どもを取り巻く大人たちで共有し共に考える場、本音を語り合う場こそが必要だと実感できた大会となりました。

ご参加頂きました皆様改めて御礼申し上げます。

来年度の担当校は、大曲農業高校です。



分科会



講演



来年度担当校からの挨拶

各委員会からの活動報告

総務委員会

委員長
金子 宗元

令和5年度、総務委員会では、教育懇談会を企画し11月30日に開催いたしました。教育懇談会とは、毎年、秋田県教育庁高校教育課・生涯学習課・保健体育課・校長会等の担当者



教育懇談会

と、秋田県高等学校PTA連合役員あわせて計20数名で意見を出し合い、お互いの理解を深める会であります。

今回の課題は、①教育全般（災害時の対応について・県高等学校総合整備計画について）②生徒指導（学校の校則について・LGBTQの生徒への配慮について・不登校生徒への対応について）③進路指導（早期離職者の対応について・産学連携について）④学習指導（タブレット端末の保護者費用負担と学校での活用状況について）などでした。

また懇談では、男子の髪型のあり方に関する議論や、災害時の対応、秋田県指定自動車教習所協会から早めの入校のお願いが出されていることに関連しつつ各校生徒の教習所入校に関する実情や、ヤングケアラー等の対策として、学校と民生児童委員などとの連携のお願いなど、多岐にわたる事柄に関して活発な議論がなされ、非常に有意義な会となりました。

健全育成委員会

委員長
佐 沢 かな子

令和5年度の健全育成委員会では、全県の高P連加盟校に対し、高校生の自転車のヘルメット着用や保険加入についての調査と、登校時一声運動・マナーアップ運動の取組状況の調査を行いました。自転車の通学時のヘルメット着用については、努力義務ということもあり着用を義務づけている学校はありませんでした。今後の課題と思われま。また、登校時一声運動・マナーアップ運動では、高い実施率に加え、高P連で貸出をしている横断幕やのぼり旗を活用した学校が複数見られ、また、複数回開催した学校もあり、今年も活発にこの運動を実施していただきました。その他の活動としては、10月の第2回合同委員会の講演会の企画を行い、秋田ヤクルト販売株式会社の竹村太郎氏を講師にお招きして「おなかから考える健康づくり」という演題でご講演をいただき、大変興味深く楽しいお話しを聞くことが出来ました。今年度はコロナ禍も落ち着き、委員の皆様と様々な活動ができた事に感謝を申し上げます。



登校時一声運動・マナーアップ運動

進路対策委員会

委員長
川 田 諭

昨年度に引き続き今年度も東北地区進路対策委員会の担当県の当委員会は、9月8日に東北各県の進路対策委員会の皆様と一緒に秋田公立美術大学を視察させていただきました。素晴らしい大学だとは聞いてはいたましたが、見ると聞くとは大違いで秋田県内にこんなにも素晴らしい大学があったのかと、見るものすべてに感じました。機会がありましたらぜひ秋田公立美術大学を訪れてみてください。

11月17日も東北各県の進路対策委員会の皆様と一緒に、(株)菓子舗栄太楼 代表取締役社長 小国輝也氏を講師にお招きし、『人を呼んで栄える秋田創り〜次世代の担い手を育てる親たちに期待する〜』の演題でご講演を賜り、小国社長の秋田を想う熱い気持ちに感銘を受けました。

皆様のご協力とご尽力のおかげで貴重な体験をさせていただきましたこと心より感謝申し上げます。



秋田公立美術大学に訪問



研究協議

調査広報委員会

委員長
照 井 元

今年度の主な内容としては、年2回の会報の制作、広報紙コンクール審査及び東北地区調査広報委員会への参画などとなっております。

会報第132号につきましては、新年度の定期総会の記事を始め新役員の紹介などを記載、第133号では全国宮城大会の様子や各委員会の活動状況等を取り上げております。第132・133号ともに沢山のPTA会員に見て頂き、県高P連の活動に少しでも賛同を願いたく会報の制作に委員全員で取り組んで参りました。1月18日には広報紙コンクール審査を例年にならい実施し、東北地区高P連広報紙コンクールへ進む3校の審査を行っております。

1年を通じ各高校のPTA会員、PTA会長の皆さんにご理解を頂いたこと、何より調査広報委員、事務局の皆様のご協力あつての委員会活動だったと思います。今後とも県高P連の会報紙の必要性や見やすく理解しやすい、会報の発刊に努めて行きたいと思っております。



広報紙コンクール審査



母親委員会

第36回母親会員交流会開催

食でつなぐこどもの未来 今の私たちにできること

委員長 佐藤 麻衣子



講演 (実演)

過ぎゆく秋が感じられた11月24日(金)、秋田県教育庁生涯学習課の皆さま、岩手県高等学校PTA連合会母親委員会の皆さまにもご同席していただき、第36回母親会員交流会が皆様のご協力のもとに開催されましたこと心より感謝申し上げます。

さて、今年は「食でつなぐこどもの未来 今の私たちにできること」を研究主題として、講師にMariageキッチン主宰、栄養士であり野菜ソムリエプロでもあります、鈴木まり子先生をお招きして講演をしていただきました。

演題は『みんなで食を楽しもう〜簡単・美味しい食事づくり〜』。子どもたち(高校生)の1日の希望摂取カロリーを生活スタイルごとに示していただいたり、野菜やフルーツを取り入れたバランスの良い食事メニューを写真で提示していただいたりと、大変分かりやすく解説し



グループ別討議

ていただきました。

講演後は、鈴木先生考案レシピの炊き込みご飯を実演調理していただき、参加者皆さんで味わいながらのグループ別討議となりました。母親委員として交流会に参加していると感じるのが、「秋田の女性、お母さんたちは、エネルギーでアイディアマン」ということです。今回のグループ別討議では、お父さんのために様々な工夫を加えた食事でサポートしている姿や、時には友だちのように接してお父さんと仲良く過ごす様子が垣間見え、あらためて母親の存在の大きさを私自身も再確認できた交流会となりました。

最後に、この母親会員交流会がこれからも母親の皆さまにとって有意義な交流の場となりますことを祈念いたします。ありがとうございました。



鈴木先生から「高校生の元気な生活を応援する」手軽で美味しい料理のレシピを紹介していただきました。

炊飯器チキンライス

レシピ: Mariageキッチン主宰 鈴木まり子



- 【材料2合分】
- 米……………2合
 - サラダチキン……………100g
 - ミックスベジタブル……………1カップ
 - バター……………20g
 - パセリ……………少々
 - コンソメ顆粒……………小さじ2
 - トマトケチャップ……………大さじ4
 - 塩……………ひとつまみ
 - ベイリーフ……………1枚

【作り方】

- ①米は洗って、ザルにあげ水気を切っておく。
- ②サラダチキンは1cm位に手でちぎる。
- ③米を炊飯器に入れ、Aを入れ2合より若干減らしてメモリまで水を入れ、ひと混ぜする(炊き込みがある場合は炊き込みラインまで水を入れる)。

- ④ミックスベジタブルとサラダチキン、ベイリーフを入れ炊飯する(炊き込みがある場合は炊き込みモードで炊飯する)。
 - ⑤炊きあがったら、ベイリーフを取り出しバターを加え、かき混ぜる。器にもり、パセリを添える。
- ※包丁も使わず、手間いらずの簡単チキンライス。お弁当にももちろん、冷凍も可。卵をのせてオムライスやドリアなどに楽しくリメイク